

責任重大な書類作成の任務なのでとても苦勞しておりますが、どうにか現在最終段階に入る事ができました。そんな中、スイスからの問合せで、2770 地区は non-binary の生徒を受け入れる事ができるかというメールがきました。

多いに時代の流れの速さを感じました。結局、日本はまだ保守的で時期尚早という事で、この受け入れはお断りしました。世界がどんどん進んでいっている中、これから頻繁に直面するであろう課題の難しさを肌で感じました。

また、派遣候補生選抜の英語の試験問題作成、来日生の特別合宿の資料作りなどに携わりました。

昨年 11 月には拙宅茶室にて、茶道、能楽体験会を企画して、学生達に室町時代から脈々と続く日本文化を体験してもらいました。来日生と派遣生が初めて合同で行う勉強会でした。若者達が、言葉の壁を越え、あつという間に打ちとける姿を見て大変嬉しく、企画をして良かったと思う事ができました。

また留学生が日本を知る上でとても重要な場所、広島原爆ドーム、宮島の厳島神社、京都 清水寺、金閣寺などを訪れる三日間の修学旅行に同行しました。全員で千羽鶴を折り、平和の塔に奉納するシーンはとても感動的でした。皆で世界の平和を一心に祈りました。一年間、ロータリー活動一色の感がありました。若者から学ぶ事も多くあり、貴重な経験ができました。

ロータリーアクト特別推進委員会 委員長 内山 泰成

ロータリーアクト特別推進委員会 委員 齊藤 敏雄

ロータリーアクト特別推進委員会 事務長 十文字 裕司

ロータリーアクト特別推進委員会に、十文字君、斎藤君、そして私の 3 名で出向いたしました。



ロータリーアクトクラブは、ロータリークラブと同様に、正式に国際ロータリーの加盟クラブとなりました。これにより、ロータリーアクトクラブには大きな可能性が期待される一方、組織としての自立も求められるようになり、以下のような規約変更が行われました。現在も改革は進行中です。

- ・年齢上限の撤廃
- ・地区内ロータリー行事への、ロータリー会員としての参加が可能に
- ・スポンサークラブの有無にかかわらず、ロータリーアクトクラブの新設が可能に
- ・地区補助金・グローバル補助金の申請が可能に
- ・RI への人頭分担金の支払い義務化(大学基盤:5 ドル、社会人基盤:8 ドル)

こうした大きな変化に、当初はロータリーアクトメンバーも私たちロータリアンも戸惑い、まずは意見交換会を通じて活動をスタートさせました。岡村ガバナーにもご参加いただき、ご指導を仰ぐ中で、双方の意識改革が進み、「協働」の推進に向けて歩み始めることができました。

その流れの中で、ガバナーの地区運営方針「未来を見据えて変化しよう」に基づき、ロータリーアクト委員会は青少年部門から独立。ロータリーアクトメンバー5 名、ロータリアン 5 名からなる「ガバナー直下の特別推進委員会」として新たに発足いたしました。

特に、ロータリーアクトが持つ大きな可能性に着目し、地区補助金を活用した大規模事業の経験をアクトメンバーに提供したいという思いから、昨年 11 月に「2770 地区ロータリーアクトクラブ合同奉仕事業『埼玉子ども食堂プロジェクト』」を実施いたしました。

この事業では、さいたま市・さいたま市教育委員会の後援、さいたま市子ども食堂ネットワークのご協力を得て、来場者数 1,000 名を超える盛大なイベントとなりました。主催者、参加者、協力者すべての方々笑顔にあふれた、素晴らしい奉仕事業となりました。このプロジェクトは、ロータリーアクトメンバーにとって奉仕活動の意義を体感し、自信を深めるとともに、今後のさらなる成長につながる貴重な経験となりました。

た。

また、クラブ増強の面では、年初には 9 クラブ・会員数 100 名未満だったものが、次年度には 13 クラブ・会員数 200 名超となる見込みです。

今後に向けては、ロータリーアクトクラブのさらなる基盤強化と自立体制の確立に加え、スポンサークラブとの良好な関係の構築と協働の推進が求められます。

私たちはこれまで、ロータリーアクトメンバーと共に思いを共有し、行動を積み重ねてまいりました。

今後も、ロータリーアクトクラブが活発な活動を通じて「ロータリーアクトの目的」の達成に向け、着実に成長していくことを願っております。

最後になりましたが、小林会長をはじめとする当クラブの皆様には、昨年 11 月の事業におきまして多くのメンバーにご参加いただき、私たち出向者は大変励まされました。

また、ロータリーアクトに対しても、ご理解をいただきましたことに、心より感謝申し上げ、ロータリーアクト特別推進委員会出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。



国際交流委員会 委員 松本 有祐

年会費変更に伴う細則変更について

■進行 会長 小林 又次郎

出席会員の 2/3 の賛成により、年会費変更が可決されました。



スマイル報告

■副 SAA
井田 人志

